

2022 年度仙台大学入学者選抜の概要

目 次

仙台大学体育学部の入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）	・・・ 1
入試日程	・・・ 6
出願についての注意	・・・ 7
総合型選抜要項	・・・ 8
スポーツ総合型選抜要項	・・・ 9
学校推薦型選抜要項	・・・ 11
同窓生教員・同窓会支部出願手順	・・・ 13
一般選抜（前期）要項	・・・ 14
一般選抜（後期）要項	・・・ 15
大学入学共通テスト利用選抜要項	・・・ 16

※新型コロナウイルスの感染状況等によっては、要項の内容を変更する場合があります。

最新情報は、随時本学ホームページにて公表します。

仙台大学体育学部の入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）

— 求める学生像 —

仙台大学体育学部では、本学のデュプロマポリシー（卒業の認定に関する方針）を達成するために、以下のような学生を求めます。

だれよりもスポーツが好きで、

- ・ 本学の建学の精神と基本理念を理解し、意欲的に仲間と協働で学ぶ意志がある人
- ・ 意欲的に体育・スポーツ及び健康分野の専門的知識や技能を修得し、卒業後、関連する分野において、その能力・識見を活かしていこうとする意志がある人
- ・ スポーツ活動や社会貢献活動に意欲的に取り組む意志がある人
- ・ 卓越した競技力を獲得するために努力を惜しまない人

なお、本学で体育・スポーツ及び健康分野について学びその専門的知識や技能を修得するにあたっては、高等学校までに修得した幅広い教科の基礎的学力（基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体性を持って学ぶ態度）を身につけておくことを望みます。

以上を踏まえ、本学では、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜という入試方式を通じて「学力の3要素」の各要素についてバランス良く多角的な視点から評価し、個々人の有用な能力を生かし得る学生の受入れを行うこととしています。

デュプロマポリシー（卒業の認定に関する方針）

仙台大学体育学部は、建学の精神「実学と創意工夫」を基盤に「スポーツ・フォア・オール」を基本理念として、学生一人一人の無限の可能性を導き出す真の人間形成を促す教育を展開し、体育学の基盤的な分野、すなわち、体育・スポーツ及び健康分野において専門的な知見・技能を有して活躍できる人材を養成することを目的としています。

すなわち、教育分野を含む体育・スポーツ及び健康領域での指導に携わる人材、体育・スポーツ及び健康分野の産業等に携わり、各分野で組織の目標達成・業績向上や職場の人間関係の構築・深化などに寄与するに足る能力・識見を身につけた学生に対して学位を授与します。

仙台大学体育学部では、この人材養成の目的を達成するため、本学のアドミッションポリシーに沿って受入れた学生に対して、卒業までに次のようなことを修得することを求めています。

本学のカリキュラムポリシーのもと、本学の基本理念・教育目的に沿って設定した授業科目、さらには学内外における体育・スポーツ活動や社会貢献活動を通じて、

- ・その授業科目を履修して卒業要件単位数を修得することができること
- ・体育・スポーツ及び健康分野についての専門的知識・技能を修得するとともに、それらを実践・応用する力を身につけることができること
- ・現代社会において体育・スポーツ及び健康分野の学問が果たすべき役割を理解し、課題探究力、問題解決力、コミュニケーション能力などを総合的に身につけることができること

体育学科

入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）
自他ともに認めるスポーツ好きで、体育・スポーツへの関心興味が高く、将来は、体育・スポーツ領域でのコーチング・トレーナー・マネジメントなど関連分野の専門家になりたいという強い意志がある方

入学までに身につけてきてほしいこと	該当する選考区分 (◎特に重視する選考区分)
1. 高校時代に基本的な学習習慣を身につけ、本学科での学修に必要な基礎的知識を有している。(知識・技能)	全ての入試
2. 高校時代にスポーツ競技者としての活動、マネージャーなどスポーツを支える活動、その他スポーツの観戦や応援など、スポーツ経験をはじめとし、スポーツに関連する様々な活動に積極的に参加し、入学後の体育・スポーツ科学に関わる学修に対して強い意欲がある。(主体的に学ぶ態度)	全ての入試 ◎総合型選抜 ◎推薦型選抜
3. 基本的な日本語能力（読解・作文・口頭説明など）を身につけている。(知識・技能/思考力・判断力・表現力)	全ての入試
4. 基本的な学力（特に国語・英語）を身につけている。(知識・技能)	全ての入試 ◎一般選抜 ◎大学入学共通テスト利用選抜
5. スポーツの基本技能、ひいてはスポーツの高度な競技能力を身につけている (知識・技能)	◎スポーツ総合型選抜 ◎一般公募制推薦基礎運動能力選択 ◎一般選抜後期B方式

健康福祉学科

入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）
スポーツが好きで、健康福祉分野に興味・関心を持ち、物事に積極的に取り組み、かつホスピタリティーマインドがあり、将来は、これら関連分野の専門家になりたいという強い意志がある方

入学までに身につけてきてほしいこと	該当する選考区分 (◎特に重視する選考区分)
1. 高校時代に基本的な学習習慣を身につけ、本学科での学修に必要な基礎的知識を有している。(知識・技能)	全ての入試
2. 高校時代にスポーツ競技者としての活動、マネージャーなどスポーツを支える活動、その他スポーツの観戦や応援など、スポーツ経験をはじめとし、スポーツに関連する様々な活動に積極的に参加し、入学後の健康福祉科学に関わる学修に対して強い意欲がある。(主体的に学ぶ態度)	全ての入試 ◎総合型選抜 ◎推薦型選抜
3. 基本的な日本語能力（読解・作文・口頭説明など）を身につけている。(知識・技能/思考力・判断力・表現力)	全ての入試
4. 基本的な学力（特に国語・英語）を身につけている。(知識・技能)	全ての入試 ◎一般選抜 ◎大学入学共通テスト利用選抜
5. スポーツの基本技能、ひいてはスポーツの高度な競技能力を身につけている (知識・技能)	◎スポーツ総合型選抜 ◎一般公募制推薦基礎運動能力選択 ◎一般選抜後期B方式

運動栄養学科

入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）
スポーツが好きで、運動・スポーツと栄養の関わりに強い興味と関心を持ち、将来は、これら関連分野の専門家になりたいという強い意志がある方

入学までに身につけてきてほしいこと	該当する選考区分 (◎特に重視する選考区分)
1. 高校時代に基本的な学習習慣を身につけ、本学科での学修に必要な基礎的知識を有している。(知識・技能)	全ての入試
2. 高校時代にスポーツ競技者としての活動、マネージャーなどスポーツを支える活動、その他スポーツの観戦や応援など、スポーツ経験をはじめとし、スポーツに関連する様々な活動に積極的に参加し、入学後の運動栄養科学に関わる学修に対して強い意欲がある。(主体的に学ぶ態度)	全ての入試 ◎総合型選抜 ◎推薦型選抜
3. 基本的な日本語能力（読解・作文・口頭説明など）を身につけている。(知識・技能/思考力・判断力・表現力)	全ての入試
4. 基本的な学力（特に国語・英語・生物・化学）を身につけている。(知識・技能)	全ての入試 ◎一般選抜 ◎大学入学共通テスト利用選抜
5. スポーツの基本技能、ひいてはスポーツの高度な競技能力を身につけている (知識・技能)	◎スポーツ総合型選抜 ◎一般公募制推薦基礎運動能力選択 ◎一般選抜後期B方式

スポーツ情報マスメディア学科

入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）
スポーツが好きで、スポーツの中の情報を知り、分析し、伝えることに強い関心を持ち、将来は、それらに関わる職業に就くことを志す方

入学までに身につけてきてほしいこと	該当する選考区分 (◎特に重視する選考区分)
1. 高校時代に基本的な学習習慣を身につけ、本学科での学修に必要な基礎的知識を有している。(知識・技能)	全ての入試
2. 高校時代にスポーツ競技者としての活動、マネージャーなどスポーツを支える活動、その他スポーツの観戦や応援など、スポーツ経験をはじめとし、スポーツに関連する様々な活動に積極的に参加し、入学後のスポーツ情報マスメディア科学に関わる学修に対して強い意欲がある。(主体的に学ぶ態度)	全ての入試 ◎総合型選抜 ◎推薦型選抜
3. 基本的な日本語能力（読解・作文・口頭説明など）を身につけている。(知識・技能/思考力・判断力・表現力)	全ての入試
4. 基本的な学力（特に国語・英語・数学）を身につけている。(知識・技能)	全ての入試 ◎一般選抜 ◎大学入学共通テスト利用選抜
5. スポーツの基本技能、ひいてはスポーツの高度な競技能力を身につけている (知識・技能)	◎スポーツ総合型選抜 ◎一般公募制推薦基礎運動能力選択 ◎一般選抜後期B方式

現代武道学科

入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）
スポーツ好きで、特にわが国の伝統文化である武道に興味を持ち、また、武道の応用展開の修得を通じ社会の安全・安心に関して強い関心があり、将来は、体育・スポーツ・武道の専門的指導者や社会の安全・安心を担う業務分野に就きたいという強い意志を持つ、明るく礼儀正しい方

入学までに身につけてきてほしいこと	該当する選考区分 (◎特に重視する選考区分)
1. 高校時代に基本的な学習習慣を身につけ、本学科での学修に必要な基礎的知識を有している。(知識・技能)	全ての入試
2. 高校時代にスポーツ競技者としての活動、マネージャーなどスポーツを支える活動、その他スポーツの観戦や応援など、スポーツ経験をはじめとし、スポーツに関連する様々な活動に積極的に参加し、入学後の武道や警護・警備に関わる学修に対して強い意欲がある。(主体的に学ぶ態度)	全ての入試 ◎総合型選抜 ◎推薦型選抜
3. 基本的な日本語能力（読解・作文・口頭説明など）を身につけている。(知識・技能/思考力・判断力・表現力)	全ての入試
4. 基本的な学力（特に国語・英語）を身につけている。 (知識・技能)	全ての入試 ◎一般選抜 ◎大学入学共通テスト利用選抜
5. スポーツの基本技能、ひいてはスポーツの高度な競技能力を身につけている (知識・技能)	◎スポーツ総合型選抜 ◎一般公募制推薦基礎運動能力選択 ◎一般選抜後期B方式

子ども運動教育学科

入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）
スポーツが好きであり、子どもと時間を過ごすことが好きで、子どもとの運動や遊びの支援・助長を通じ、将来は、幼児の教育・保育、幼児体育指導に携わりたいという強い意志を有している方

入学までに身につけてきてほしいこと	該当する選考区分 (◎特に重視する選考区分)
1. 高校時代に基本的な学習習慣を身につけ、本学科での学修に必要な基礎的知識を有している。(知識・技能)	全ての入試
2. 高校時代にスポーツ競技者としての活動、マネージャーなどスポーツを支える活動、その他スポーツの観戦や応援など、スポーツ経験をはじめとし、スポーツに関連する様々な活動に積極的に参加し、入学後の子ども運動教育に関わる学修に対して強い意欲がある。(主体的に学ぶ態度)	全ての入試 ◎推薦型選抜 ◎総合型選抜
3. 基本的な日本語能力（読解・作文・口頭説明など）を身につけている。(知識・技能/思考力・判断力・表現力)	全ての入試
4. 基本的な学力（特に国語・英語）を身につけている。 (知識・技能)	全ての入試 ◎一般選抜 ◎大学入学共通テスト利用選抜
5. スポーツの基本技能、ひいてはスポーツの高度な競技能力を身につけている (知識・技能)	◎スポーツ総合型選抜 ◎一般公募制推薦基礎運動能力選択 ◎一般選抜後期B方式

入試日程

選考区分		学科	出願期間	試験期日	合格発表
総合型選抜	Ⅰ期	体育	令和3年9月1日 ～10月8日	10月16日、17日 の指定日	11月1日
		・健康福祉 ・運動栄養 ・スポーツ情報 マスメディア ・現代武道 ・子ども運動教育		10月23日、24日 の指定日	
	Ⅱ期	全学科	令和3年11月29日 ～12月10日	12月18日	12月23日
Ⅲ期	令和4年2月1日 ～2月17日		2月23日	2月25日	
スポーツ 総合型選抜	Ⅰ期	全学科	令和3年9月1日 ～10月8日	10月23日 (※10月18日)	11月1日
	Ⅱ期		令和3年10月25日 ～11月11日	11月19日	11月26日
	Ⅲ期		令和3年11月29日 ～12月10日	12月18日	12月23日
学校推薦型選抜		全学科	令和3年11月1日 ～11月11日	11月20日、21日 の指定日	12月1日
一般選抜（前期）	A方式	全学科	令和4年1月6日	2月6日、7日	2月15日
	B方式		～1月21日	2月7日	
大学入学共通テスト 利用選抜（前期）		全学科	令和4年1月6日 ～1月27日	本学での個別試験 は課さない。	2月15日
一般選抜（後期）	A方式	全学科	令和4年2月24日	3月14日	3月17日
	B方式		～3月9日		
大学入学共通テスト 利用選抜（後期）		全学科	令和4年2月24日 ～3月9日	本学での個別試験 は課さない。	3月17日

※スポーツ総合型選抜Ⅰ期の試験期日（令和3年10月23日）が国際大会、全国大会やそれにつながる試合及び日本代表レベルでの合宿等の日程と重複した者は、予備日程（10月18日）での受験が可能です。

出願についての注意

(1) 複数入試区分への併願等について

①総合型選抜

学科間の併願はできません。

②スポーツ総合型選抜

学科間の併願はできません。また、スポーツ総合型選抜Ⅱ期と学校推薦型選抜の併願はできません。

③学校推薦型選抜

学科や選考区分により試験日が異なる場合でも併願はできません。

また、スポーツ総合型選抜Ⅱ期と学校推薦型選抜の同時出願もできません。

④一般選抜（前期）

A方式・B方式とも1日の受験で3学科まで併願が可能であり、全学科で2日間の出願が可能です。

⑤大学入学共通テスト利用選抜

一般選抜（前期・後期）との同時出願は可能です。

全ての学科で併願は可能です。※複数出願する場合は、それぞれ出願書類が必要となります。

⑥一般選抜（後期）

A方式・B方式とも1日の試験で3学科までの併願が可能です。

(2) 受験に際して特別な配慮を要する場合

本学の入学試験において、病気・負傷や障がい等のために、受験時に特別な配慮を希望する場合は、出願前に入試課へ相談して下さい。事前（出願開始1ヶ月前まで）に書類「受験上の配慮申請書」の提出をしていただくことがあります。

申請書に基づいて検討し、病気・負傷や障がいの種類、程度に応じた措置を講じます。

ご希望のすべてに対応できるとは限りませんので、ご承知おき下さい。

※特別な配慮を必要とする場合は、原則として本学会場（仙台大学）での受験となります。

(3) 大学入学共通テスト利用選抜での手続

大学入学共通テスト利用選抜で合格され、手続きされる場合は、大学入学共通テストの受験票の写しが必要となる場合がありますので、大切に保管しておいて下さい。（本学の受験票とは異なります。）

(4) 入学辞退に関すること

入学手続き完了後、やむを得ない事情により入学を辞退し納付金の返還を希望する場合は、所定の手続により納入済の納付金のうち、入学金を除いた部分を返還いたします。（なお、総合型選抜及び学校推薦型選抜は入学手続後の辞退は認めません。）

総合型選抜要項

募集人員	学科	体育	健康福祉	運動栄養	スポーツ情報 マスメディア	現代武道	子ども運動 教育
	人数	70名	40名	30名	15名	10名	15名
※募集人員はⅠ期・Ⅱ期・Ⅲ期の合計人数							
出願資格	<p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者。</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者。</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p>						
出願要件	本学への入学を強く希望し、合格した場合には必ず入学手続きをとる意志のある者。						
実施方法	(1) 書類審査、(2) プレゼンテーション、(3) 個人面接、(4) レポート作成						
選考方法	<p>(1) 書類審査 個人面接の際に、発言内容との整合性や具体性などの判断根拠に用い、個人面接の評価に反映させるとともに、合否ライン上の判定において基礎学力を含め総合的に活用します。</p> <p>(2) プレゼンテーション</p> <p>① テーマ 高校生活の中で取組んだ活動(※)について、「その活動内容」、「その取組みで最も印象深かったこと」、「その取組みを通して何を学び、それを今後の大学生活にどう活かすか」について発表してください。 ※高校生活の中で取組んだ活動とは次のようなものです。 ・運動部や文化部などの部活動(マネージャーなども含みます) ・生徒会、文化祭、体育祭、合唱大会など ・ボランティア活動、地域スポーツ・文化活動など ・上記以外で主体的に取り組んだこと(資格取得、研究活動、その他)</p> <p>② 方法 プレゼンテーションの時間は5分間です。その後プレゼンテーションに対する質疑を5分間程度行います。 プレゼンテーションに必要な資料がある場合は、紙面(A4サイズ3枚まで)で用意し、試験当日に、自身分の他2部持参してください。なお、資料そのものは評価の対象としません。</p> <p>(3) 個人面接</p> <p>① 複数名のアドミッションオフィス担当者により面接を行います。 ② 学科の志望理由、大学での学び、将来設計などについて質問します。 ③ 面接時間は10分程度です。</p> <p>(4) レポート作成 与えられたテーマについて、その内容を的確に把握して論理的に自分の考えを記述しているかを思考力・判断力・表現力の観点から評価するとともに、基本的な日本語能力を身につけているかを判定します。なお、テーマは当日発表します。(作成時間40分、文字数400字)</p>						

スポーツ総合型選抜要項

募集人員	学科	体育	健康福祉	運動栄養	スポーツ情報 マスメディア	現代武道	子ども運動 教育
	人数	85名	10名	10名	5名	10名	5名
※募集人員はⅠ期・Ⅱ期・Ⅲ期の合計人数							
出願資格	<p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者。</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者。</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p>						
出願要件	指定された競技種目(下表)において次に示す条件を全て満たす者で、本学への入学を強く希望し、合格した場合には必ず入学手続きをとる意志のある者。						
	Ⅰ期	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会出場以上の実績を有する者の他、全国大会レベルで活躍できる個人技能を持っている者。 ・入学後、当該競技を継続する強い意志のある者。 					
	Ⅱ期	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ競技において優れた技能を有する者。 ・入学後、当該競技を継続する強い意志のある者。 					
	Ⅲ期	全国大会出場以上の実績を有する者の他、全国大会レベルで活躍できる個人技能を持っている者。					
実施方法	Ⅰ期、Ⅲ期	(1) 書類審査、(2) 小論文(800字)、(3) 集団面接					
	Ⅱ期	(1) 書類審査、(2) 小論文(800字)、(3) 集団面接、(4) 実技					
選考方法	<p>(1) 書類審査 競技実績の判定に活用します。集団面接の際に、発言内容との整合性や具体性などの判断根拠に用い、集団面接の評価に反映させるとともに、合否ライン上の判定において基礎学力を含め総合的に活用します。</p> <p>(2) 小論文 文章やグラフ、資料などを読み解き、その内容を的確に把握して論理的に自分の考えを記述しているかを思考力・判断力・表現力の観点から評価するとともに、基本的な日本語能力を身につけているかを判定します。(60分、800字)</p> <p>(3) 集団面接 2名のアドミッションオフィス担当者により面接を行います。(担当者2名対受験生複数名により行う。)出願した学科のアドミッションポリシーに基づき、高校生活、志望動機、大学での学び、大学生活、将来設計などについて質問します。</p> <p>(4) 実技(Ⅱ期のみ) 選択した競技種目において、高度な競技能力を身につけているかを判定します。</p>						

指定する競技種目

I期の競技種目は下記23種目に限定し、競技継続を条件とする。

- | |
|---|
| 1. 陸上競技 2. 体操競技 3. 新体操 4. 水泳・水球 5. バレーボール
6. バスケットボール 7. ハンドボール 8. サッカー 9. ラグビー (男子)
10. 柔道 11. 剣道 12. 野球 (硬式・男子) 13. ボブスレー・リュージュ・スケルトン
14. 漕艇 (ボート) 15. ソフトボール 16. テニス (硬式・ソフト)
17. ウエイトリフティング 18. バドミントン 19. スキー
20. スケート (含むアイスホッケー) 21. 空手道 22. 卓球 23. クリケット |
|---|

II期の競技種目は下記18種目に限定し、競技継続を条件とする。

- | |
|--|
| 1. 陸上競技 2. 体操競技 3. 新体操 (女子) 4. 水泳・水球 5. バレーボール
6. バスケットボール 7. ハンドボール 8. サッカー 9. ラグビー (男子)
10. 柔道 11. 剣道 12. 野球 (硬式・男子) 13. ボブスレー・リュージュ・スケルトン
14. 漕艇 (ボート) 15. ソフトボール (女子) 16. テニス (硬式)
17. ウエイトリフティング 18. バドミントン |
|--|

III期は、全種目を対象とし、競技継続を条件としない。

学校推薦型選抜要項

募集人員		体育	健康福祉	運動栄養	スポーツ情報 マスメディア	現代武道	子ども運動 教育
	一般公募制	20名	5名	5名	5名	5名	5名
	指定校	50名	20名	15名	5名	5名	5名
	同窓生教員 同窓会支部	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	特別	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
出願資格	(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者。 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者。						
推薦基準	一般公募制	次の全ての条件を満たす者。 (1) 志望学科の専門分野に強い興味と関心のある者。 (2) 学校長の推薦のある者。 (3) 全体の学習成績の状況が3.0以上の者。					
	指定校	学業成績、人物ともに優秀で、次の全ての条件を満たす者。 (1) 志望学科の専門分野に強い興味と関心のある者。 (2) 学校長の推薦のある者。 (3) 本学が指定した高等学校を令和4年3月卒業見込みの者。 (4) 全体の学習成績の状況が3.0以上の者。					
	同窓生教員 同窓会支部	学業成績、人物ともに優秀で、次の全ての条件を満たす者。 (1) 本学(含む大学院)卒業の教員(常勤・非常勤講師を除く)から中学校、高等学校で指導を受け、本学受験に際して推薦を得られる者。または、本学同窓会支部長の推薦を得られる者。 (2) 学校長の推薦のある者。 (3) 志望学科の専門分野に強い興味と関心のある者。 (4) 全体の学習成績の状況が3.0以上の者。					
	特別	学業成績、人物ともに優秀であり学校長からの推薦を得られる者で、次のいずれかに該当する者。 (1) 本学と同一の法人が設置した高等学校を卒業した者及び同高等学校を令和4年3月卒業見込みの者。 (2) 全体の学習成績の状況が3.0以上である本学卒業生の子女。 (3) 全体の学習成績の状況が3.0以上であり、かつ、「日本英語検定協会の実施する実用英語技能検定試験準2級以上もしくは同等の英語資格等」を保持している者。 (4) 全体の学習成績の状況が3.0以上の者であり、本学が特に認めた者。					

実施方法	一般公募制	(1) 書類審査 (2) 「小論文(800字)」または「基礎運動能力」のいずれかを選択 (3) 個人面接
	指定校 同窓生教員・同窓会支部 特別	(1) 書類審査 (2) 小論文(800字) (3) 個人面接
選考方法	<p>(1) 書類審査 個人面接の際に、発言内容との整合性や具体性などの判断根拠に用い、個人面接の評価に反映させるとともに、合否ライン上の判定において基礎学力を含め総合的に活用します。</p> <p>(2) 小論文 文章やグラフ、資料などを読み解き、その内容を的確に把握して論理的に自分の考えを記述しているかを思考力・判断力・表現力の観点から評価するとともに、基本的な日本語能力を身につけているかを判定します。(60分、800字)</p> <p>(3) 個人面接 2名のアドミッションオフィス担当者により面接を行います。(担当者2名対受験生1名により行い、15分程度を標準とします。) 出願した学科のアドミッションポリシーに基づき、高校生活、志望動機、大学での学び、大学生活、将来設計などについて質問します。</p> <p>(4) 基礎運動能力(※) 「立五段跳」「メディシンボール投げ」「往復走」「40m走またはシャトルランのどちらか選択」の4種目で実施し、スポーツの基本技能を身につけているかを判定します。</p>	

※基礎運動能力試験の内容について

種目		内容
立五段跳		前方方向への左右脚交互の5歩跳躍
メディシンボール投げ		立位からの前方へのスロー ※男子は3kg、女子は2kgのボールを使用
往復走		10mの往復走 2往復半
1種目選択	40m走	立位から全力の40m疾走
	シャトルラン	20mの往復持久走

同窓生教員・同窓会支部出願手順

◆予備登録と本出願について以下の手順に従って出願して下さい。

・出願する際は、必ず予備登録が必要です。予備登録なしの本出願は一切受け付けません。

1. 予備登録

期間：令和3年9月1日～9月24日

2. 大学説明会と予備面談

(1) 実施日

10月12日

※やむをえない事情により当日参加できない場合は、予め入試課にご相談ください。

(2) 内容

- ・説明会（学部学科の内容、同窓生教員・同窓会支部について）
- ・予備面談

3. 予備登録結果の通知

A・B・Cの3段階で通知します。

10月14日に速達郵便で発送予定。（学内掲示、HPでの発表は行いません。）

4. 本出願

予備登録の結果を確認していただき、本出願するか否かを判断して下さい。

検定料はこの時点で納入することになります。

※推薦できる受験生は、同窓生教員1名に対し受験生「1名」とさせていただきます。

なお、推薦書は必ず厳封していただきますようお願いいたします。

一般選抜（前期）要項

募集人員		体育	健康福祉	運動栄養	スポーツ情報 マスメディア	現代武道	子ども運動 教育
	A方式	60名	20名	15名	5名	7名	5名
	B方式						
出願資格	<p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者。</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者。</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p>						
実施方法	A方式	<p>(1) 書類審査</p> <p>(2) 国語総合（古文・漢文を除く）・現代文B</p> <p>(3) 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ）</p>					
	B方式	<p>(1) 書類審査</p> <p>(2) 国語総合（古文・漢文を除く）・現代文B</p> <p>(3) 基礎運動能力</p>					
選考方法	<p>(1) 書類審査 調査書や志願者本人が記載する資料等により学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価し、合否ライン上の判定において活用します。</p> <p>(2) 国語 国語の基本的な学力を身につけているかを判定します。また、論理的な思考力・判断力・表現力等を適切に評価するため記述式問題を出題します。 (配点100点)</p> <p>(3) 英語 英語の基本的な学力を身につけているかを判定します。(配点100点)</p> <p>(4) 基礎運動能力（⇒P.12） 「立五段跳」「メディシンボール投げ」「往復走」「40m走またはシャトルランのどちらか選択」の4種目で実施し、スポーツの基本技能を身につけているかを判定します。 (配点100点)</p>						

※1 試験複数学科併願性について

A方式・B方式共に最大3学科まで併願することが出来ます。

なお、出願の際に併願学科の優先順位を決めていただきますが、選考にあたっては、各出願学科で独立して選抜を行います。

一般選抜（後期）要項

募集人員		体育	健康福祉	運動栄養	スポーツ情報 マスメディア	現代武道	子ども運動 教育
	A方式	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	B方式						
出願資格	<p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者。</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者。</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p>						
出願要件	B方式については、スポーツ競技（全種目対象）において優れた技能を有する者。						
実施方法	A方式	<p>(1) 書類審査</p> <p>(2) 国語（古文・漢文を除く）・現代文B</p> <p>(3) 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ）</p>					
	B方式	<p>(1) 書類審査</p> <p>(2) 小論文（800字）</p> <p>(3) 個人面接</p>					
選考方法	<p>(1) 書類審査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査書や志願者本人が記載する資料等により学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価し、合否ライン上の判定において活用します。（A方式・B方式共通） ・競技実績の判定に活用するとともに、個人面接の際に、発言内容との整合性や具体性などの判断根拠に用い、個人面接の評価に反映させます。（B方式） <p>(2) 国語</p> <p>国語の基本的な学力を身につけているかを判定します。また、論理的な思考力・判断力・表現力等を適切に評価するため記述式問題を出题します。</p> <p>(3) 英語</p> <p>英語の基本的な学力を身につけているかを判定します。</p> <p>(4) 小論文</p> <p>文章やグラフ、資料などを読み解き、その内容を的確に把握して論理的に自分の考えを記述しているかを思考力・判断力・表現力の観点から評価するとともに、基本的な日本語能力を身につけているかを判定します。</p> <p>(5) 個人面接</p> <p>2名のアドミッションオフィス担当者により面接を行います。（担当者2名対受験生1名により行い、15分程度を標準とします。）</p> <p>出願した学科のアドミッションポリシーに基づき、高校生活、志望動機、大学での学び、大学生活、将来設計などについて質問します。</p>						

※1 試験複数学科併願性について

A方式・B方式共に最大3学科まで併願することが出来ます。

なお、出願の際に併願学科の優先順位を決めていただきますが、選考にあたっては、各出願学科で独立して選抜を行います。

大学入学共通テスト利用選抜要項

この試験は令和4年度大学入学共通テストを利用する試験です。事前に令和4年度大学入学共通テストに出願し、令和4年1月15日（土）16日（日）に実施する試験を必ず受験して下さい。

募集人員	選考区分	体育	健康福祉	運動栄養	スポーツ情報 マスメディア	現代武道	子ども運動 教育
	前期	15名	5名	5名	5名	3名	5名
	後期	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
出願資格	(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者。 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者。 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者。						
出願要件	令和4年度大学入学共通テストにおいて下記の学科別の教科・科目を受験する者。 ●体育学科・健康福祉学科・現代武道学科・子ども運動教育学科 令和4年度大学入学共通テストにおいて、別表1、2（下記）のとおり「国語」と「英語」を受験する者。 ●運動栄養学科 令和4年度大学入学共通テストにおいて、別表1、2（下記）のとおり「国語」「英語」のうち1科目と、「理科」の計2科目を受験する者。 ●スポーツ情報マスメディア学科 令和4年度大学入学共通テストにおいて、別表1、2（下記）のとおり「国語」と、「英語」「数学」のうち1科目の計2科目を受験する者。						
選考方法	(1) 志願者が受験している大学入学共通テストの教科・科目のうち、各学科毎に別表2（下記）で指定された2科目の合計得点で可否を判定します。 (2) 調査書や志願者本人が記載する資料等により学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価し、合否ライン上の判定において活用します。 ※全学科とも2次試験（個別学力検査等）は実施しません。						

（別表1）大学入学共通テストを利用する科目

教科	科目	配点
国語	「国語」（近代以降の文章）	100点
英語	「英語（リスニング含む）」	100点
理科	「生物」、「化学」、「化学基礎＋生物基礎」のうちいずれか1つ	100点
数学	「数学I」、「数学I・数学A」のうちいずれか1つ	100点

※英語については、大学入学共通テストの配点（リーディング100点＋リスニング100点、合計200点）を100点満点に換算します。

(別表2) 学科毎の試験科目

学 科	試験科目	
体育学科 健康福祉学科 現代武道学科 子ども運動教育学科	国語	英語
運動栄養学科	「国語」または「英語」 のいずれかを選択	理科
スポーツ情報マスメディア学科	国語	「英語」または「数学」 のいずれかを選択

